

2018年度事業報告書

2018年6月1日から2019年5月31日まで

特定非営利活動法人Social Change Agency

1 事業の成果

自主事業である「Social Change Agent養成プログラム」の第二期目を企画実施した。来期2019年度は文京区福祉政策課、文京区社会福祉協議会による「他機関による包括的相談支援体制の構築」事業において、研修コンテンツを提供する運びとなった。ソーシャルアクションや社会資源開発という言葉が、様々な実践領域で関心を持たれるようになってきた手応えを感じている。

他機関からのソーシャルワークに関する依頼も複数寄せられ、研修実施、コンサルティング、現場でのケースワークなど、各機関のニーズに合わせたサポートを行った。法人スタッフ増員により、より多くのサポートを提供するに至った。

複数団体と共同でポスト申請主義を考える会を設立、社会保障制度における申請主義によって生じる課題の社会問題化に努めた。

メールマガジンは登録者数が2900名を超え、ソーシャルワークに関する知見の共有や、ソーシャルワーカーという職業の広報に務めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
ソーシャルワーカーの社会的認知度向上プロジェクト事業	後述	随時	都内	1名	約2600名	0
ソーシャルワーカーによる学び創出コミュニティプロジェクト事業	後述	随時	都内	4名	238名	2366
ソーシャル・リサーチ・プロジェクト事業	本年度は実施せず					
ソーシャルアクション・サポート事業	後述	随時	関東	3名	16名	7669

1. ソーシャルワーカーの社会的認知度向上プロジェクト事業

(1) メールマガジンの配信

本年度は登録者数が約300名増加し、登録者数は2900名を超えた。

2. ソーシャルワーカーによる学び創出コミュニティプロジェクト事業

自主事業である通年の研修プログラム「Social Change Agent養成プログラム」を実施。

参加者による社会資源開発後押し/サポートし、某市区町村の課内における勉強会立ち上げや地域の支援者の燃え尽き防止プロジェクト立ち上げ、市区町村の子ども支援関係者ネットワーク立ち上げなどのアクションがみられた。

一般参加者も含め、延べ238名の参加者を得た。各回のレポート、プログラム終了後のレポートについても法人ホームページにて公開し情報発信につとめた。

3. ソーシャルアクション・サポート事業

非常勤スタッフを2名増員。以下について、ソーシャルワークの専門性を各機関に提供した。

(1)日本財団による、子どもの貧困に対する拠点設置事業において、NPO法人Learning for Allと連携（業務を受託）し、新規設置拠点に関する福祉的機能の実装を担当（2019年3月終了）

(2)NPO法人Learning for Allによる葛飾区のこどもの居場所立ち上げにおける支援（2019年1月-3月終了）

(2)株式会社ヒューマンアルバ社運営の依存症回復施設の一号拠点の立ち上げ、利用者集客支援業務、採用支援等をサポート（2019年2月終了）

(3)認定NPO法人フローレンスに対するソーシャルワーカー定着支援（2019年4月より開始）

(4)文京区のこども宅食事業におけるソーシャルワークのアドバイザー業務受託（継続）

(5)難病当事者と自助グループ「難病カフェ」の企画運営サポート（継続）

他、企業への研修提供や単発のコンサルティングなどを実施し、社会に対するソーシャルワークの価値提供に勤めた。

4. 講演・研修講師など

他、NPO、職能団体などからの講演・研修依頼が寄せられ、研修実施を機会にさまざまな機関とのネットワーク構築につながった。

複数団体と共同でポスト申請主義を考える会を設立、社会保障制度における申請主義によって生じる課題の社会問題化に努めた。